

えびなの森創造事業 「第5回市民植樹祭」を開催

市では、県内初の開催となる第61回全国植樹祭に合わせ、同植樹祭サテライト会場の催しとして「第5回市民植樹祭」を開催します。

今回の市民植樹祭は、毎年恒例の「緑化まつり」と同日に開催し、市道254号線の街路樹を、家族・団体などで植えます。

▽日時 5月23日(土)13時～(予定)▽会場 下図のとおり▽対象・定員 市内在住が在勤の大人2人以上の団体(家族、友人、事業所など)・80団体(定員を超えた場合は抽選)※1団体につき1本を植樹

なお、参加団体名などを記載した記念プレートに木に取り付けますので、記載したい事項を申し込み時にお知らせください。▽費用 無料。

海老名市文化団体連合会では、市と共催で「春季文化祭」を開催します。

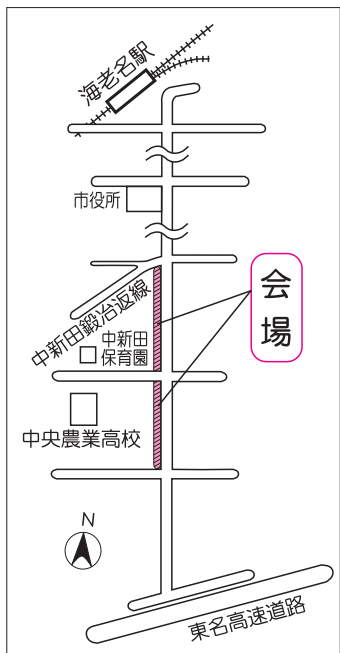
5/22(土)・23(日) 春季文化祭 開催

同連合会の長い歴史が作り育ててきた海老名の文化の数々を、ぜひ鑑賞ください。

【展示部門】

▽日時 5月22日(土)・23日(日)の10時～16時▽会場 中央公民館・文化会館の一部▽総合福祉会館の一部▽内容 書道・華道・茶道(茶席は22日のみ開催)・有料・短歌・俳句・菊花・盆栽・食生活(模擬店含む)※菊花と盆栽は廉価で販売を予定。

【出演部門】▽日時 5月23日(日)10時～17時▽会場 文化会館大ホール▽内容 日本舞踊・新日本舞踊・詩吟・三曲・民謡舞踊・剣詩舞道・津軽三味線・歌謡三味線。▽文化スポーツ課(☎235・4797)。



市政の 現場から

近ごろようやく暖くなり、過ごしやすい季節になってまいりました。4月は例年になく寒さで、また寒暖の差が激しく体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。くれぐれも体調管理には気を付けていただきたいものです。

さて、本紙平成21年12月1日号でご報告しましたが、昨年の「白石農業祭」で、白石市長、登別市長と私の会談の中で話し合った「3市による災害援助協定」を、先月22日に締結いたしました。

白石・登別・海老名 トライアングル交流

今後は北海道・東北・関東におけるトライアングルの災害援助体制が形成され、災害時にはお互いに助け合っていきたいと思っています。もし当市で大きな災害が起きた場合には、子どもや高齢者の方に白石市や登別市へ一時避難をしてもらい、当地で温泉に入りながらくつろぎ、復旧作業が落ち着いたら頃に帰ってきていただければ良いのではないかと考えています。また、協定締結を記念

もあり、当初応募多数の場合には抽選の予定でしたが、せっかくの機会ですので、バス一台を増便し、応募者全員に参加していただきました。22日には、私と白石市長、登別市長を含めた総勢約120名が白石市の「不伐の森」で記念

市長 内野 優

水田農家向け 「戸別所得補償モデル対策」がスタート

農林水産省では、食糧自給率向上と、水田農業の経営安定化を図るため、二つの支援事業を合わせた「戸別所得補償モデル対策」を実施します。

◆自給率向上事業 自給率向上のため、水田を有効活用し、麦・大豆・米粉用米・飼料用米などを生産・販売する場合、主食用米と同等の所得を確保できるように助成金を交付します。

◆米のモデル事業 自給率向上のための環境整備を図るため、米の生産数量目標に従って生産する場合に、主食用米の作付面積に応じた助成金を交付します。

▽交付金額(例) 作付面積10ア当たり1万5000円。※作付面積10ア以下は対象外です。また、20ア以上は水稲共済加入が条件です。なお、同モデル対策のチラシは、JAさがみ各支店や市役所農政課窓口で配布。詳しくはお問い合わせください。

▽交付金額 作付面積10ア当たり1万5000円。※作付面積10ア以下は対象外です。また、20ア以上は水稲共済加入が条件です。なお、同モデル対策のチラシは、JAさがみ各支店や市役所農政課窓口で配布。詳しくはお問い合わせください。

▽交付金額 作付面積10ア当たり1万5000円。※作付面積10ア以下は対象外です。また、20ア以上は水稲共済加入が条件です。なお、同モデル対策のチラシは、JAさがみ各支店や市役所農政課窓口で配布。詳しくはお問い合わせください。

▽交付金額 作付面積10ア当たり1万5000円。※作付面積10ア以下は対象外です。また、20ア以上は水稲共済加入が条件です。なお、同モデル対策のチラシは、JAさがみ各支店や市役所農政課窓口で配布。詳しくはお問い合わせください。

稲作体験農園 利用者を募集

市では、市民の皆さんに水稲栽培の農業を通じて緑や土などの自然に親しんでもらうため、稲作農園

(水田)の利用者を募集します。

▽応募資格 耕作地を所有していない市内在住の方

▽農園所在地 上郷810番地ほか(左上図。JR相模線海老名駅から徒歩10分程度)※駐車場はありませんので、徒歩または自転車をご利用ください

▽募集区画 42区画(1区画約40平方メートル。家族や団体で利用可)

▽利用期間 6月13日(土)～10月末日(田植え実施日)

▽利用料 無料 ※苗や肥料などは自己負担(1000～2000円)

▽利用内容 田植え・草取り・稲刈りなどの作業(指導・補助は行います)。消毒や水管理以外はすべて利用者の作業となります。

5月10日(土)～25日(日)に、郵便はがきまたは農政課窓口にある申込はがきに

援農ボランティア研修生募集

市では「えびな愛農推進事業」の一環として、水稲農家や畑作などの手伝いを目的とした「援農ボランティア」の研修生を募集します。実際に農家で手伝いながら農業を学んでみませんか。

▽研修種別 ①稲作研修 ②畑作研修

住所・氏名(団体名)・電話番号・利用人数を記入の上、直接または郵送で〒243・0492農政課へ。1団体または1家族につき1人のみ応募可。団体名を記入せず、個人で申し込みをして当選した場合、集団(団体)での利用はできません。申し込み多数の場合は抽選となります。決定者は5月30日(日)10時から開催する事前説明会に出席してください。

農政課(☎235・4844)へ。

同モデル対策の説明会を、次の日程で開催しますので、ぜひご参加ください。

▽日程 ①5月11日(日) ②12日(日) 13時30分～15時

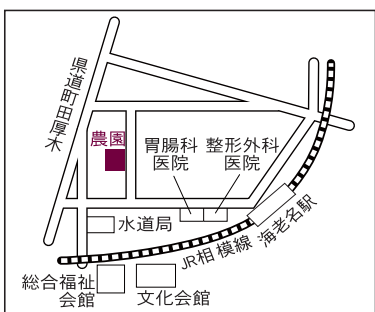
▽会場 ①市役所401会議室 ②海老名グリーンセンター2階研修室(大谷240)

▽参加方法 直接会場へ。説明会については、海老名市水田協議会事務局(ⅡJAさがみ海老名支店内、☎231・1771)、市農政課(☎235・4844)へ。



便利です!「えびなメールサービス」

登録はebn@post.jaにてメールアドレスを送信。詳しくは、市ホームページまたは情報システム課へ



市では、市民の皆さんに水稲栽培の農業を通じて緑や土などの自然に親しんでもらうため、稲作農園

市では「えびな愛農推進事業」の一環として、水稲農家や畑作などの手伝いを目的とした「援農ボランティア」の研修生を募集します。実際に農家で手伝いながら農業を学んでみませんか。

市では「えびな愛農推進事業」の一環として、水稲農家や畑作などの手伝いを目的とした「援農ボランティア」の研修生を募集します。実際に農家で手伝いながら農業を学んでみませんか。